

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区	地区内集落	作成年月日	直近の更新年月日
八幡浜市	川上	白石、川名津、上泊	令和3年3月22日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	278.3	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	173.2	ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	23.7	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	13.2	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.1	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	10.15	ha
(備考) ・中心となる経営体は56経営体。 ・5年後に経営規模拡大を計画している中心経営体は、16経営体、拡大予定面積13.15ha。		

2 対象地区の課題

<input type="checkbox"/> 現在の耕作・維持管理	耕作・維持管理できている農家が多い。
<input type="checkbox"/> 農業後継者・高齢化	耕作者の年代が比較的若く、後継者確保ができている農家が多い。
<input type="checkbox"/> 今後の地域農業の担い手	少なくなっている。後継者がいないところは、Iターンに期待。
<input type="checkbox"/> 新たな農地の受け手確保の必要性	必要である。
スプリンクラーの老朽化。 若手世代に独身が多い。 一農家の耕作農地面積が大きい(基本1.5haはある)ため、若い世代の多くも現状維持で手一杯。	

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

現状の農地を維持する為に、後継者を育成。 各方面に声かけしてIターンを増やし、農地マッチングを進める。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

多面的機能事業の活用。
スプリンクラー施設の更新。
鳥獣被害防止対策の継続。捕獲者の確保。
Iターン就農を積極的に支援する。(住居、倉庫、アルバイトの受入の為に宿泊所等)